

# 業 務 状 況 説 明 書

(令和4年4月1日～令和4年9月30日)

## 1 事業の概要

令和4年度上半期の有収水量は801,982m<sup>3</sup>となり、令和3年度の下半期と比較すると15,260m<sup>3</sup>増加しました。また、令和3年度の上半期と比較した場合は、675m<sup>3</sup>の減少となりました。

また、令和4年9月30日現在の水洗化人口は18,023人となり、令和4年3月31日現在と比較すると166人増加し、令和3年9月30日現在と比較すると300人増加しました。

## 2 経理の状況

### (1) 収益的収入及び支出の経理の状況

令和4年度上半期の収益的収入の調定済額は324,744,817円(税込み)となり、予算現額に対する執行率は40.7%です。また、長期前受金戻入を除いた場合の予算現額に対する執行率は、65.1%となります。

令和4年度上半期の収益的支出の支出負担行為済額は134,375,108円(税込み)となり、予算現額に対する執行率は17.5%です。また、減価償却費を除いた場合の予算現額に対する執行率は、40.9%となります。

### (2) 資本的収入及び支出の経理の状況

令和4年度上半期の資本的収入の調定済額は2,001,280円(税込み)となり、予算現額に対する執行率は0.7%です。

令和4年度上半期の資本的支出の支出負担行為済額は279,510,871円(税込み)となり、予算現額に対する執行率は50.7%です。

## 3 令和3年度の決算の状況

令和3年度の下水道事業会計の収益的収支の決算額(税抜き)は、下水道事業収益が878,739,793円、下水道事業費用が704,356,884円、当年度純利益が174,382,909円となり、当年度未処分利益剰余金は222,335,928円となりました。なお、下水道事業収益のうち下水道使用料は、222,768,120円でした。

令和3年度の資本的収支の決算額(税込み)は、資本的収入が190,108,540円、資本的支出が468,810,089円、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は278,701,549円となり、この資本的収入額が資本的支出額に対

して不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額6,157,569円、当年度分損益勘定留保資金96,810,036円、繰越利益剰余金処分量47,953,019円及び当年度利益剰余金処分量96,980,925円で補填したほか、なお不足する額30,800,000円（未払相当分）については、令和3年度同意の企業債の未発行分30,800,000円をもって、翌年度に措置することとしました。

#### (1) 下水道使用料の状況

令和3年度の年間有収水量は1,589,379<sup>m</sup>で、令和2年度と比較すると43,582<sup>m</sup>減少しました。

また、下水道使用料の収入額は税抜きで222,768,120円、税込みで245,044,930円となり、令和2年度の下水道使用料と比較すると税込みベースで5,299,360円の減少となりました。

#### (2) 主な建設改良工事等の状況

- ・ 汚水枝線整備工事

汚水管きよを0.8km布設し、その結果、汚水管きよの総延長は、民間事業者からの帰属分を合わせて、109.5kmになりました。

- ・ 大池調整池整備工事

文違地先に設置した大池調整池の整備工事を行い、大池排水区の浸水被害の防止を図りました。

- ・ マンホールポンプ交換工事

故障したマンホールポンプ1基を、新品に交換しました。

- ・ マンホール蓋交換工事

老朽化したマンホール蓋72枚を新品に交換し、施設の長寿命化を図りました。

- ・ 汚水管きよの点検・調査

令和元年度に策定したストックマネジメント計画に基づき、汚水管きよ3.0kmについて老朽化の点検・調査を行いました。